

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和4年6月23日（木）
- 2 確認箇所
使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第一施設～第三施設）
- 3 確認項目
使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第一施設～第三施設）の状況

4 確認結果の概要

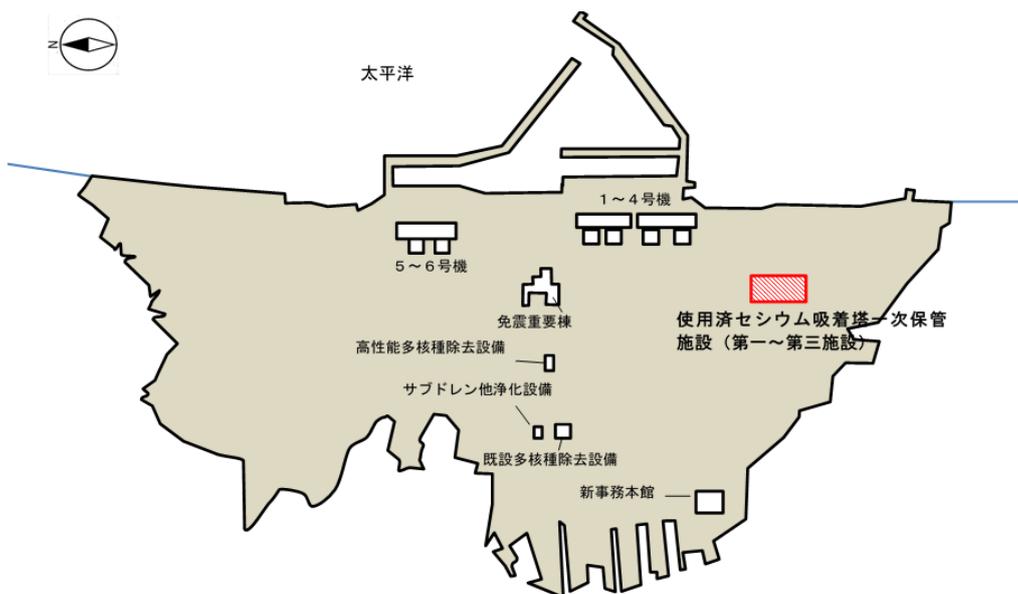
使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第一施設～第三施設）では、セシウム吸着装置(KURION, SARRY, SARRY II)で発生した使用済吸着塔や多核種除去設備で発生した放射性二次廃棄物を収容した高性能容器（以下「HIC」という。）等がボックスカルバート^{*1}に入った状態や架台に設置された状態で一時保管されている。

使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）においては、使用見込みのないKURION用セシウム吸着塔用ボックスカルバートを撤去し、HIC格納用ボックスカルバートを増設する計画がある。

これらのことから、今回は使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第一～第三施設）の現況を確認した。なお、この報告書では「使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第一施設）」を「第一施設」、「使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第二施設）」を「第二施設」と表記する。（図1）（前回確認：[令和3年12月9日](#)（第三施設）、[令和2年10月29日](#)（第一、第二施設））

- ・第一施設には、使用済吸着塔がボックスカルバートに入った状態や架台に設置された状態で置かれていた。また、内部に吸着塔が入っていないボックスカルバートも置かれていた。（写真1）
- ・第二施設にはHIC用ボックスカルバート、使用済セシウム吸着塔用のボックスカルバートが置かれており、HIC用ボックスカルバート上で門形クレーンを使った作業が行われていた。（写真2）
- ・第三施設には主にHIC用ボックスカルバートが置かれていた。（写真3-1）KURION用ボックスカルバートも撤去されずに置かれており、周囲では撤去準備のため、資機材が置かれていた。（写真3-2）（写真3-3）
- ・第三施設では門形クレーンを使ってHICをボックスカルバートへ収納する作業等が行われていた。（写真4）
- ・いずれも漏えい等の異常は確認されなかった。

※1 ボックスカルバート：鉄筋コンクリート製の箱型構造体であり、使用済セシウム吸着塔やHICから発生する放射線を遮へいしつつ安全に一時保管するために使われている。



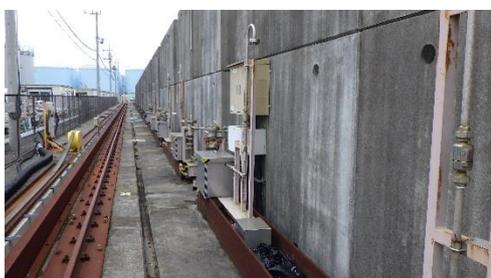
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



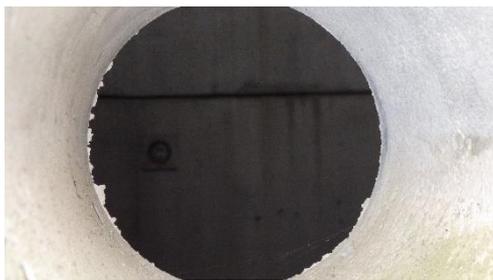
(写真1-1)
第一施設の状況(北西側から撮影)



(写真1-2)
第一施設における架台に置かれた吸着塔の状況



(写真1-3)
第一施設におけるボックスカルバートの状況



(写真1-4)

第一施設におけるボックスカルバートの状況（通気口から中を覗いた状況。中に吸着塔は入っていない。）



(写真2-1)

第二施設の状況（北東側から撮影）



(写真2-2)

第一施設、第二施設の状況（南西側から撮影）



(写真2-3)

第二施設における作業の状況（北東側から撮影）



(写真3-1)

第三施設の状況（北東側から撮影）



(写真3-2)

第三施設におけるKURION用ボックスカルバートの状況（南東側から撮影）



(写真 3-3)
第三施設における資機材仮置き状況
(南東側から撮影)



(写真 4-1)
第三施設におけるボックスカルバートの蓋開け作業 (ボックスカルバート上部北端での作業)



(写真 4-2)
第三施設においてトレーラーからHICを取り出す状況

5 プラント関連パラメータ等確認

3号機原子炉格納容器内の温度計（格納容器空調機戻り空気温度TE-16-114A）が、3号機の他の温度計と異なり低下傾向を示していることから、今後の推移を注視する。

その他の各パラメータに異常な値は確認されなかった。